

矢島薫先生の文化功労者を祝う

上原 昇 (65期)

10月25日、NHK お昼のニュースを見ていると、今年の文化勲章と文化功労者の名前が紹介されていました。功労者の最後の方で「俳人の矢島渚男さん、89歳」と流れたので、「あっ！矢島薫先生だ」とすぐ分かりました。

同窓会名簿をめくってみると、矢島先生は昭和40年4月、我々65期が2年の時に上田高校に赴任、昭和56年4月まで母校の教壇に立っていました。

個人的には、社会科の倫理社会を教えていただきました。

当時から俳句をやっておられたのかは知りませんが、後に俳句の大先生なるとは思いませんでした。

(下の写真は当時の卒業アルバムにある若い頃の矢島先生です)

矢島先生といえば、2010年9月18日の母校創立110周年記念式典での記念講演を思い出します。演題は「母校の思い出と俳句の話」でした。(写真はその時のものです)

先生は上田高校の51期ですが、卒業はしていません。3年の時に東京の高校に転校しているのです。講演ではその時の顛末についてユーモアを交えて話してくれました。

俳句では芭蕉の「古池や蛙飛び込む水の音」の新解釈について語っていましたが、中身は忘れてしまいました。

同窓生で文化功労者には洋画家の小山敬三さん(14期)が1970年に、法学者の金子宏さん(47期)が2012年になっていますが、お二人ともその後、文化勲章を受章されました。矢島先生もこれからも長生きして、文化勲章をと思うのは私だけではないでしょう。

(2024年11月16日記)



矢島渚男さん

